

第37回鴨川市史編さん委員会会議録

- 1 日 時 平成29年2月3日（金）
午前11時～午後2時
- 2 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 3 出席委員 4名（藤崎史正委員欠席）
三浦茂一・中嶋八良・小谷善親・佐藤恵重
- 4 事務局 文化振興室長 石川 丈夫（所用により途中退席）
主査 高橋 誠
- 5 傍聴者 なし

6 本日の協議事項

- （1）『江見のあゆみ』の校閲について
- （2）次回会議の公開又は非公開について

開 会 午前11時

- （1）事務局は、会議を開会する旨を告げ、4名出席・1名欠席で会議は成立している旨、公開の会議だが傍聴の申込はなかった旨を報告。
- （2）石川文化振興室長よりあいさつを行った（あいさつ後所用により退席）。
- （3）事務局より日程・資料の説明を行った。

議 事

事務局は、議長は鴨川市史編さん委員会設置条例第5条第1項の規定により、三浦委員長に願う旨を告げた。

会議録署名委員の指名

- （1）議長は、会議録署名人の指定について諮る旨を告げた。
- （2）議長は、鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項（会議録の作成）の規定により議長の指名で、全員異議なく次の委員を選定、承認された旨を述べた。

佐藤 恵重 委員

議事の説明

議長は、議事「（1）『江見のあゆみ』の校閲について」を議題とする旨を告げ、

事務局に説明を求めた。

議事（１）については、高橋主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事（１）について質疑及び意見を求めた。

佐藤委員：細かく航空機の識別がされているが、当時できたのだろうか。

小谷委員：尾翼の番号とかを見たのではないか。

中嶋委員：番号はなかなか見えなかったと思う。

事務局：当時の防空見張所には識別表が配られていたようです。

議長：B 2 4は、ボーイングと読むのか。

中嶋委員：単に「ビー」と呼んでいたと思う。正確にはボーイング。

議長：ボーイングを入れたらどうか

佐藤委員：「B（ボーイング）」とする。

佐藤委員：P 7 2に戻るが、「ボート」は何か。

事務局：航空機を製作した「ボート社」のことです。

佐藤委員：戦闘機とか区別が入っているので、B 2 4の前に「爆撃機」と入れる。

議長：「錦古里」はどう読むのか。

小谷委員：「ニシゴリ」ではないか。

事務局：元資料にはフリガナがありません。

中嶋委員：人名なので間違えてはいけない。このままでよいのでは。

事務局：地域の方に、念のため確認しておきます。

中嶋委員：修業年限４年とは、どこからどこまでか。高等科だけのことか。

議長：尋常科が４年ということではないのか。

佐藤委員：文章からは、両方の意味にとれる。

佐藤委員：修業年限の前に「その」を入れ、前文に「尋常科４年」も付け加える。

佐藤委員：「校地２０２０坪８６」とあるが、すぐに何かわからなかった。「余」でよい。

中嶋委員：その方がよい。

議長：「体し」は意味が難しいのではないか

佐藤委員：「受け」と直します。

議長：「一年生宛」の「宛」はひらがなの方がよいのでは。

佐藤委員：「宛」も「当」も使っている。ひらがなにしておく。

議長：歴史的仮名遣いがあるが、表記をなおすかどうか。

佐藤委員：原文のままと断っているのでいいのではないか。

中嶋委員：フリガナをつけたらどうか。歴史的仮名遣いを出すことに意義がある。

議長：読みやすいことを優先したらどうか。

佐藤委員：「原文のまま」の表記をとり、現代語にする。

佐藤委員：前ページにも引用部分に歴史的仮名遣いが使われているので、そちらも現代語にする。

議長は、ここで会議を一時休憩とする旨を告げた。

休憩：午後12時から午後1時まで。

議事の説明

議長は、会議の再開を告げ、質疑及び意見を求めた。

中嶋委員：郡誌に掲載されたページ番号がここだけあるが。

佐藤委員：いらないでしょう。

佐藤委員：「歩兵操典」にフリガナをつけるか。字そのものは難しくない。

中嶋委員：念のためつけたらどうか。

佐藤委員：「そうてん」のみつけます。

中嶋委員：「江見・天津」の「・」は同列の意味合いで使う。文章としては「から」の意味はとれるが、他に表記の仕方はないのか。

佐藤委員：「江見と天津の間」と直します。

佐藤委員：斉藤貞蔵氏については、山形県に転じた後1年で戻ってきている。あまりない話なのだが、理由についてはよくわかっていない。

佐藤委員：「熄マザル」「彷彿」は難しい表現だが、どうするか。

中嶋委員：碑文の訳を付け加えるか。

佐藤委員：碑文はだいたい同じような表現を使うので、このままでいく。

議長：フリガナをつけるか。

佐藤委員：二ヶ所つける。

佐藤委員：佐粧一光の同級生などは、曾呂にあった育英義塾に通っていた。

議長：育英義塾をどこかに付け加えたらどうか。

佐藤委員：『曾呂のあゆみ』増刷時に、数行ではあるが、育英義塾を追加している。

中嶋委員：他に人物はいないか。

佐藤委員：県会議員になった人もおらず、なかなかいない。

ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(1)『江見のあゆみ』の校閲について」は、終了した旨を述べた。

事務局に、意見に沿って、業務を進めるよう求めた。

議事の説明

議長は、記事「(2)次回会議の公開又は非公開について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(2)については、高橋主査が説明をした。

- ・平成29年6月頃に第38回市史編さん委員会を予定。
- ・内容は、平成28年度実績報告、平成29年度実施計画、『西条のあゆみ』の校閲について、次回会議の公開又は非公開について、である。

以上のような次第で、あえて非公開としなければならないような内容ではないと思う旨を述べた。

協 議

議長は、これより、議事(2)について質疑及び意見を求めた。

全委員 ・公開で良いだろう。

議 決

議長は、議事「(2)次回会議の公開又は非公開について」は、「公開」とすることに委員全員の賛成をもって決した旨を告げた。

議長は、以上で議事を終了した旨を告げた。

その他

事務局より、『江見のあゆみ』の表紙の色について、協議申し出があった。

過去の色を選定について、事務局より説明があり、『江見村誌』と同じ「若竹色」が候補である旨の提案があった。

委員より意見はなく、事務局案で進めることに決した。

事務局は、他に意見を求める旨を告げたが、意見はなく、本日の日程は全て終了したので、第37回鴨川市史編さん委員会会議の閉会を宣した。

閉 会 午後2時

以上会議の顛末を記し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 29 年 2 月 11 日

署 名 委 員

委 員 佐藤 恵重
